

### テーマ3 地域戦略としてのグローバル人材の育成

#### 考え方 留学生の育成支援

外国人留学生について、我が国が優秀な人材を集めるには大きなハンディキャップを抱えていることを認識すべきである。欧米の企業は、年功序列に縛られず、優秀な人材が、適材適所に登用されるオープンな社会になっているが、こうした採用方式は、我が国の労働慣行や雇用方針とは相容れないものがあり、結果として、賃金とポストを用意した欧米企業に優秀な人材が流れる現状になっている点に着目すべきである。

とりわけ、海外からの留学生は、日本企業への就職を希望するケースが多く、中期的な視点からの国際業務を担う中核人材としての役割が期待されてくる。日本の慣行・慣習への理解が不足している点に着目し、外国人留学生の就職活動に対するケアを継続して実施していくことが重要となる。定期的な就職説明会の開催やチューター制度による個別アドバイスの実施を強化していくことが求められる。

入学、学生の教育、企業とのマッチング、インターンシップ、就職などをパッケージで進めてはどうか。日本企業で働くということはどういうメリットがあるかということを入試広報段階から伝えていくことから始め、奨学金についても、名古屋、愛知県にある奨学金を出している企業、自治体を奨学金の1つのパッケージにする。そして、愛知にはこういう研究をしている先生、大学があるということマッチングしていくべきである。

#### 【施策アイデア(例)】

##### ➤ グローバル人材育成・活用支援パッケージの展開

人材(ここでは外国人留学生)の育成から企業における活用までの一連のプロセスを総合的に支援するサービスを、産学官連携のもと展開する。そうした機能を持つ地域であることをPRすることで人材の誘引および定着を図っていく。奨学金も県、市町村、企業、大学がそれぞれで事業を行っているが、地域で「グローバル奨学金」といった形でまとめることで情報発信につながる。

補足データ

**(参考データ 愛知県内で運用されている制度)**

- ・ 財団法人名古屋国際センター国際留学生会館 「なごや市民留学生交流員支援金」
- ・ 民間団体によるものとして、「(財)イノアック国際教育振興財団」「(財)エヌジーケイ留学生基金」「(財)上山奨学財団」「(財)豊秋奨学会」などが行う支援制度がある(県内大学で支援対象指定校に設定している制度は多数みられる)

## 考え方 日本人人材の育成支援

日本人の海外留学を支援するカリキュラムの国際認証取得を目指す大学が拡大している。こうした動きを捉えた日本人の海外留学を支援していく動きを充実させるべきである。多くの学生が経済的な理由から留学を断念しているなか、こうした支援を充実（授業料・渡航費等）させていくことは地域におけるグローバル人材の育成につながるものと捉えるべきである。日本人人材について、日本と他国の違いを論理的に説明できる人材となれるよう、修学・就労体験の機会を確保することが求められる。その際、語学力が重要となることは言うまでもなく、英語＋1（現地語）を身につける場を提供することが求められる。また、現地企業へのインターン派遣にあたっては、現地の文化等をあらかじめ学び、現地のことに対する理解を高めたうえで派遣することが重要となる。

人材及び企業を紹介する事業に留まらず、グローバル人材として必要となる素養や経験を身につける育成事業まで踏み込んで取り組んでいくことが重要となる。具体的には、語学力習得から現地で研修、就職先のマッチングといった一連のプロセスをサポートできる体制を地域に設けることが求められる。

現在、都道府県レベルでも日本人を対象とするグローバル人材育成事業が展開されている（大阪府、岐阜県、三重県等）。その多くが、語学力（主に中国語、英語）の向上と海外での実地研修を行いグローバル環境下での就労経験を積む機会を提供するものとなっている。また、単にグローバル人材として必要となる素養（語学力等）を身につける機会を確保するだけでなく、最終的な企業（主に地域内の中小企業）とのマッチングまで支援することが重要と捉えた取組となっている。

こうした取組に対し、県外から定住を含めて参加する人材もあり、当該事業を通じた人材の誘引へとつなげていくことも重要となる。特に、当該地域の特徴であるものづくり企業（自動車、素材、航空宇宙、医療、食品、エネルギー分野等の主要産業）への就労を希望する人材の参加が期待される。

### 【施策アイデア（例）】

#### ➤ グローバル人材現地インターン派遣支援の展開

海外での実務を通じて他国を知る機会を増やし、グローバル企業での就労に対するイメージを高める機会を確保していく。こうした機会は、個々の企業では対応が困難とされ、地域での体制構築が期待される。

補足データ

大阪府 グローバル人材育成プログラム事業

大阪府 大阪府緊急雇用創出基金事業 中小企業のためのグローバル人材育成プログラム事業

## 世界のフィールドに OSAKAからチャレンジ!

参加者募集 100名 (2024年2月1日より受付開始)

本プログラムの対象となる方

- 仕事に就いていない若年者の方 (40歳未満の方)
- グローバル人材として成長する意欲のある方
- ビジネス経験・語学力など一定の実績のある方

● プログラム参加者のメリット

- 海外経験・知識を得られる**  
海外での語学研修やOJT先企業での職場実習を通じて、海外ビジネスに必要なグローバルなコミュニケーション力や商習慣やマナーなど海外現地ビジネスの基礎知識を得ることが出来ます。
- 海外でも安心のサポート体制**  
海外現地マネージャーによる、フォローや24時間日本語で対応可能な緊急時の相談窓口など、海外現地から現場での滞在でも、安心できるサポート体制を用意。
- 月額給与の実給**  
研修および職場実習期間中、就業時間に応じ、パソナの給与をお支払いします。研修期間も含みます。 ※就業実習は非業種実習で行います。 (研修の開始時期は別途お知らせいたします。)

若年失業者等を訓練生として新規に雇用(地域人材訓練生)し、OFF-JT(座学を中心としたビジネス語学及び外国語によるビジネス訓練・教育)、自社の海外拠点及び海外の派遣先でOJTを効果的に組み合わせて、即戦力となるグローバル人材を育成し、大阪府内の人材不足の中小企業等に定着させる事業。

研修期間は平成24年2月より 期分が開始されている。募集定員 期:100名(実施中)、期:50名(募集終了)。なお、参加者には給与が支払われる。

コースの一例(中国語ビジネスコース 上海)

国内Off-JT(1ヶ月間)	海外Off-JT(4ヶ月間)	海外OJT(5ヶ月間)	海外展開企業へ就職サポート
<ul style="list-style-type: none"> <li>導入研修</li> <li>営業研修</li> <li>グローバルビジネス研修</li> <li>ビジネス研修</li> </ul> <p>時給 1,000円</p>	<p>海外渡航</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス中国語大学(上海外国語大学)</li> <li>中国ビジネス常識</li> </ul> <p>研修中、給与を支給</p> <p>時給 1,200円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外実務 上海</li> </ul> <p>時給 1,400円</p>	

資料: パソナ株式会社事業専用ホームページ (<http://www.pasona.co.jp/pr/osaka-global-project/>) より

三重県 グローバルビジネス人材育成研修事業

MieOJT 三重県 グローバルビジネス人材育成研修事業

TOP グローバルビジネス人材育成研修事業とは 研修生募集要項 説明会・選考会 参加申込

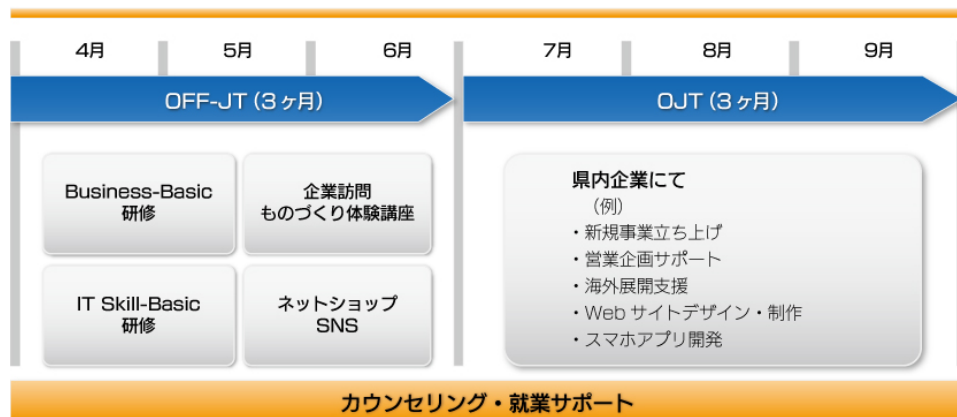
メリット

- 充実した教育・基礎研修!
- 実務経験が積める!
- 実習中の給与支給!

一緒に1歩を踏み出そう!!

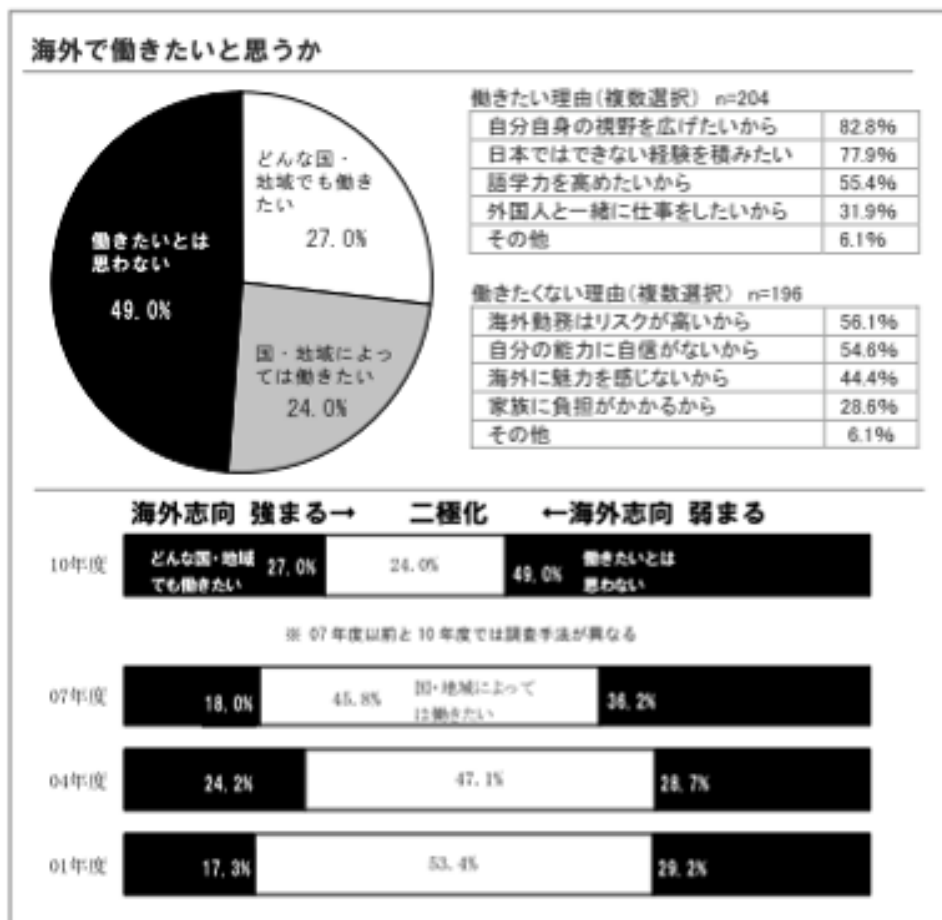
大学・短期大学または専門学校を卒業後、就業していない若者の就職を支援するため、6ヶ月間の雇用契約を結び基礎研修(OFF-JT)と職場実習(OJT)を組み合わせた実践的な研修を実施し、実習後の就職を目指す事業。

研修期間は平成24年4月1日~平成24年9月末日、募集定員20名、参加者には給与が支払われる。



資料: 三重県ホームページ (<http://www.y-miekoyou.jp/index.html>) より

図 若年層における海外での就労意向の変化



資料：「第4回新入社員のグローバル意識調査」(平成22年7月 学校法人産業能率大学)より